

2019年度 兵庫県クラブユースサッカー（U-14）新人戦 戦評

決勝 フレスカ神戸 3 vs 3 ヴィッセル神戸（場所：アスパ五色）

PK4 - 2

両チームの結果に強風がどのように影響するのかが重要な決勝戦となった。フレスカは 1-4-4-2、ヴィッセルは 1-4-3-3 のお互いのシステムの噛み合わせで試合がどのように進んで行くのかも見所であった。

立ち上がりはその風の影響もあったのか両チーム共落ち着かなかったが、前半 8 分にフレスカ 10 番がこぼれ球を拾いドリブルで持ち込みシュートを決める。

その後フレスカに勢いがでてミドルシュートなのでゴールを脅かすプレーから CK を獲得。前半 13 分に CK のこぼれを 7 番がシュートして 2 点目が決まる。

前半中盤以降フレスカがボールを持ち優位にゲームを進める展開に。

ヴィッセルの守備がボール保持者に対してのアプローチが遅れたため後手を踏みフレスカが優位に攻撃を進めていた。

ヴィッセルはボールを保持した時 MF 3 人が下がりすぎたためかフレスカのプレッシャーを受け、ボールを奪われることが多くフレスカペースで前半 2 - 0 折り返す。

後半は風上に立ったヴィッセルが徐々にボールを保持し始めゲームを進める形になるが、フレスカのポジションバランスが良く、ボールに対してプレッシャーをうまくかけることでなかなか決定機は作れず。

後半 11 分にフレスカゴール前で 28 番が受けてターンしシュート、それがバーにあたり跳ね返りを 28 番がそのままヘディングで押し込み 1 点を返す。

その後、終了 5 分を切ったところで、ヴィッセルがチェンジサイドで右サイドに展開し、深いところから中へクロスを上げ、逆サイドに流れたところを 33 番がワンタッチでシュートを決め同点に。

延長前半 3 分フレスカ DF が風での影響からロングボールの処理を誤り GK と 1 vs 1 になりヴィッセル 25 番が決め勝ち越し。

後半 2 分 FK を得たフレスカが 23m の距離を直接決め再び同点に。

その後決着がつかず PK へ。

1、2 番目が落ち着いて決めたが、両チームとも 3 番目のキッカーが失敗。ヴィッセル神戸の 4 人目が続いて外し、PK4-2 でフレスカ神戸が優勝を決めた。

試合開始時から吹いていた強風が得点や試合結果に大きく影響したこと、フレスカのサイドの選手がインサイドにポジションを取ることで優位にたったことがフレスカの勝因であった。